

京都社会人卓球リーグ要項

1) 出場資格

- ① チーム登録が必ず京都卓球協会にある事。
- ② チーム登録に際しては構成メンバーを明示する。
- ③ 構成メンバーの追加については事前に届けることを原則とする。
(メンバーチェンジとは別)
- ④ 大学生は、学連登録者以外であれば出場可。
- ⑤ 高校生は、高体連登録者以外であれば出場可。
- ⑥ 高体連登録・学連登録している者も退部後社会人登録しなおす事により即出場可。
⑥ ついては、高体連・学連の退部届を提出後、出場可とする。
届けは事務局受理日よりとする (FAX 可、但し正式届けは後日郵送の事)。
- ⑦ 登録規定変更に伴う出場資格の変更について
京都府に在住・在勤・在学の者に限り出場出来る
但し、レディース独自の大会についてはレディース委員長に確認の事。

2) 選手の移籍

- ⑧ クラブ間の移籍は届出後 90 日を要す。
- ⑨ クラブ解散による他チームへの移動も同じく 90 日を要す。
- ⑩ クラブ解散による新チーム結成も⑧、⑨と同じ。
- ⑪ 年度変わりであっても同じ。
- ⑫ 特例として転勤、定年退職、会社のチーム解散、転職は出場可。
- ⑬ 個人登録から団体登録への変更については、個人登録期間が 90 日を越えている事。
あるいは個人登録直前が無所属 (無登録) で、個人登録期間とあわせたものが 90 日を越えていること。
- ⑭ 届けは事務局受理日よりとする (FAX 可、但し正式届けは後日郵送の事)。
- ⑮ 移籍の申請は両チームの責任者の認印で移籍成立。但し、特例とし本人の申請と受け入れチーム代表者の認印で移籍を認める場合あり。

3) チーム編成について

原則として今まで通りとする。

同一クラブで複数チーム出場する場合 A を最強とし、順次 B, C とする。又、A, B, C 3 チーム出場のところ、従来は本来 A チームで出場するメンバーが不足した場合、BC より順次繰り上げてゆき (上につめる) としていたのが、A のキケンを認めるものとする。但し、往来通り順次繰り上げていく (上につめる) 事も可とする。

4) オーダーミスの取扱について

1 番 2 番の出場者でダブルスを組んでしまった場合は、ダブルスをキケン (相手に 1 点) とし試合は成立させる。

- 1 3) 入替えチーム数について
入替えチーム数は2チームとする。
- 1 4) 表 彰
現行1、2位、3位を表彰する。
但し、取りに来られない場合は失効とする。
- 1 5) チームの名称変更・無届の棄権の取扱い
①内容に変更(チーム編成等)がなければ、名称変更でそのまま出場可。
(当年度運営委員会で内容検討の上結論を出す)。
②無届の棄権の取扱いについては2回までとし、以後は廃部扱いとする。棄権の届け、チーム廃部の場合は速やかに社会人事業事務局へ連絡する事。
棄権チームについては、登録用紙に○チーム棄権と明記下さい。
(FAX又は手紙)
- 1 6) 順位戦の実施について
1.2.3位決定、8.9位決定以外の順位決定については、時間によって当該チームの話し合い、あるいは抽選で決定する事もある。
- 1 7) メンバーチェンジについて
①申し込み時については、チームのメンバーの都合によりチーム編成に柔軟性を持たせる。
②試合当日のメンバーチェンジは下のクラスから上のクラスへのみ。同じクラスでの入替えも認めない。
- 1 8) 全国大会と日程が重なった場合の取扱いについて
協会としては、全国大会を最優先の観点から、全国大会に出場する該当チームがあった場合、その大会が団体戦でも、個人戦で1人が抜けるというケースであっても(あくまでもそのチームの責任に於いて出される申請についてはスポーツマンシップを信じ)その為に社会人リーグ出場不可になった場合には、棄権扱いとせず、保留扱いとする。その場合は、事前に責任者から理由を添えて社会人事業事務局に申請書を提出することとする。(但し温泉卓球は含まない)
許可する大会については、国民体育大会、全日本実業団選手権大会、全日本クラブ選手権大会、全日本選手権大会、全日本社会人選手権大会、全日本マスターズ選手権大会、近畿選手権大会とする。
- 1 9) 申し込み〆切日について
申し込み〆切は、各大会いままでより1週間早い、大会の2週間前の水曜日とする。但しメンバー変更について(上から下へ)は、同一週末土曜日の正午までとする。
(社会人事業事務局へ)
尚、出場申し込み後のキャンセルは返金しない。
2会場開催で2日間開催になった場合でも、〆切日は先の大会にあわせるものとする。

- 20) 状況に応じて午後8時を過ぎたら勝敗の決定に際し抽選（トス）もあり得る。
- 21) 今年度も決勝トーナメントは全て3ゲームスマッチとする。
- 22) 社会人リーグ（団体）当日に、社会人大会（シングルス・ダブルス）の受付を時間と場所を区切って受付ける。（開会式当日に連絡）
- 23) 団体戦でやむをえず出場がむづかしい選手（例・ねんざ等）がチームにいて代替の選手がいない場合、その選手を何番にするかはそのチームの任意とする。
- 24) 退職OBがチームに参加した場合は会社名にクラブを付けて出場する。
- 25) 当日棄権チームがあり、試合数が少なくなったチームの対応について
- ① 2チームの時には、試合を5番まで行う。
 - ② 1チームの時には、順位については通常の順位とするが、組み合わせを変更して試合を行う。
- 26) ホームページに掲載する写真については、掲載しても良いが多数でしたが、写真等は、現状掲載しない方向で進めます。
京都卓球協会のホームページのアドレスは <http://kyotopingpong.jimdo.com/> です。
平成27年度京都卓球協会一般事業計画案など掲載されています。ご覧下さい。
- 27) 申し込み時の棄権チームと当日棄権チームの対応について
- ① 申し込み時棄権チームは、全て下部に移行する。申し込み時棄権チームと当日棄権チームが合わせて2チームの場合は、当日棄権チームを8位とし下部に移行。当日棄権チームが複数の場合は、(27)②の順序に従う。
 - ② 当日棄権が複数の場合については、前回の順位に基づき順位とする。
- 28) 予選リーグのダブルスを日本リーグのように3ゲームスマッチにして時間短縮の状況判断を行い、今後、結果に顕著な効果ができれば予選リーグと決勝トーナメントを同じ体制（シングルス5ゲームスマッチ）にして行く。
平成28年度についても平成27年度と同じ方式で予選リーグのダブルスを3ゲームスマッチにして時間短縮の再確認を行います。（社会人運営全体会議で決定）
- 29) 運営委員の責任と役割
1年間リーグの運営（試合の企画構成及び試合の進行等）に携わって行かねば成らないという責任と権限を与える。
※具体的な役割
- ①毎回の組み合わせ会議に出席（運営委員を委嘱されたチームより必ず一人）し、
組合せ並びに大会運営上の諸問題について随時討議する。

- ②大会当日については、本部席に集合して頂き府立体育館についてはシートを敷かなければならない為、練習前にコート設置等の会場整備を行う。
女子チームは、試合終了後本部にその旨を連絡して、各撤去作業及び清掃作業等の後始末ができる範囲で協力して頂く。
男子チームは、最後まで残り各撤去作業及び清掃作業等の後始末を行う。

③体育館の使用上の注意、持ち込んだゴミの持ち帰り、2足制の徹底、喫煙場所の徹底を遂行する。

④社会人全体会議には必ず出席し年間の反省点をもちよる。

⑤1加盟団体でチーム数が異なるので、運営委員の割当てではチーム数に案分させる。

30) 全ての届けは必ず代表者によって書面で行う。

提出先 京都卓球協会 事務局まで

31) 京都社会人卓球リーグの事務局について

平成15年度より田阪晃司が担当。社会人事業に関するお問い合わせのみ、FAXまたは書面で代表者の方より下記まで。

32) 住所 〒610-0361 京田辺市河原御影6-3

田阪スポーツ 気付 社会人リーグ事務局 田阪晃司宛

TEL, FAX共用 0774-63-7072

(TELは平日・土曜日は10:00~20:00まで)

定休日：毎週日曜日、祝日

京都社会人卓球リーグ運営要項の制定、及び改定の経過は次の通り。

- (平成8年3月21日制定) (平成9年3月21日改定) (平成10年2月15日改定)
(平成11年3月14日改定) (平成12年3月19日改定) (平成13年3月22日改定)
(平成14年3月10日改定) (平成15年2月16日改定) (平成16年3月14日改定)
(平成17年2月13日改定) (平成18年2月12日改定) (平成19年2月4日改定)
(平成20年2月24日改定) (平成21年2月8日改定) (平成22年2月14日改定)
(平成23年3月27日改定) (平成24年2月26日改定) (平成25年4月1日改定)
(平成26年4月1日改定) (平成27年4月1日改定) (平成28年4月1日改定)